



妻沼中キャラ めにちゃん

学び磨き鍛える

正しい判断力とたくましい実践力を
もった妻沼西中生を育む学校

発行 熊谷市立妻沼西中学校
電話 048(588)1361
FAX 048(589)0496
令和7年11月13日
第19号

『市の坪 条里の跡の 名を残す』

校長 清水 利浩



これは、「めぬま郷土かるた」の札の1枚です。「市の坪」という地名は、妻沼西中学区にある地名です。この地名について調べると、中学校の歴史の時間に学習した**大化の改新**(645年)までさかのぼることができるのです。

大化の改新の後、**中大兄皇子**は、**天智天皇**となり、律と令に基づいて、天皇中心の国家(**律令国家**)を目指しました。中央は、政治を行う太政官やそのもとで実務にあたる8省などの役所が設けられました。地方は、国・郡・里に

分けられました。**妻沼西中学校区は、武蔵(ムサシ)国の幡羅(ハシ)郡です。**

人々は、戸籍に登録されて、6歳以上の人々は、口分田が与えられました。これを**班田収授法**といいます。男子には2反。女子はその3分の2の口分田が与えられ、面積に応じて稲を納める**租という税**が課せられました。口分田を分け与えるには、田を決まった大きさに区分する必要があります。そこで、朝廷は、全国の田を同じ大きさに分けようとしてしました。これが**条里制**(ジョリセ)です。熊谷市周辺には、低地が多く、たくさんの条里がつくられました。妻沼西中学区は、別府条里や道ヶ谷戸条里が存在しました。

田の規格を、縦6町(1条)、横6町(1里)としました。これが、「里」です。「里」を縦横1町ごとに分けたものが、「坪(ツバ)」です。そして、1つの坪を10等分したものが、1反としました。

こうすれば、口分田を分けやすいというわけです。「里」には、36個の「坪」ができ、その1つ目の坪が、「市の坪」というわけです。以上、私たちの郷土から日本の歴史を眺めることができます。どうですか、歴史のロマンを感じませんか！



<参考>・めぬま郷土かるた 昭和62年 妻沼町教育委員会 ・熊谷市史 資料編1考古 平成27年 熊谷市
・私たちの郷土 新編 熊谷の歴史 平成20年 熊谷市立図書館 ・熊谷の歴史を彩る 史跡・文化財・人物 平成23年 熊谷市立図書館
・通史でたどる熊谷の歴史 令和4年 熊谷市立図書館 ・くまがやの文化財と文化遺産 令和7年 熊谷市立図書館

学校生活の様子



【安全講話】交通事故防止について講話をしました。



【聖天様秋季大祭】吹奏楽部が演奏しました。



【タグラグビー教室（1年生）】アルカスが来校しを行いました。



【市P連親善バレーボール大会】見事優勝しました！



【合唱祭】各クラスが練習の成果を発揮しました。



【給食】新熊谷市誕生20周年記念のメニューが出ました。

※是非、妻沼西中学校ホームページをご覧ください。

右のQRコードから見るができます。

